

2024年度 就職先企業等の「大学の取組に対するご意見・ご要望」アンケート

1. アンケート概要

大学の取組に対する意見・要望について、以下の4点に関してアンケートを用いて意見聴取。

- (1) 「キャリア教育・就職支援活動に関すること」
- (2) 「産業界が求める人材・スキルについて」
- (3) 「研究活動の高度化・実用化に関すること」
- (4) 「教育改善に関すること」

2. 意見聴取対象企業

過年度卒業生の就職実績のある企業のうち、特に採用を増やしていただきたい、もしくは、新たに採用をしていただきたい企業を本学に招いて、企業向けオープンキャンパスにあたる企業交流会（学園紹介・学部/大学院紹介・学科/大学院ポスターセッション・学生発表・施設見学・情報交換会）を2024年11月22日（金）開催。出席いただいた企業に対して意見聴取を実施後、就職委員会を通して各学科と共有しカリキュラム検討に活用。

3. 出席企業：48社／61名（内、56名／91.8%が回答）

4. アンケート回答結果(意見集約)

(1) 「キャリア教育・就職支援活動に関すること」

- 女性の理系進学、理系就職に向けた貴学の取組みについて、今後状況をご教示いただけますと幸いです。
- 授業にお招きいただきましたが、そのようなキャリア教育の活動にも積極的にお手伝いさせていただけたらと存じます。
- 学生の方々が、どのような仕事に興味を持たれているかといったことも発信して頂けると参考になります。
- 今後も長くお付き合いさせて頂く中で、学生の傾向も年によって大きく変わるものと思います。そのあたりの情報交換を引き続きお願いできればと存じます。
- 就職活動の早期化により、学生が早々に就職先を決められる傾向にあるとお伺いしました。学生皆さんに広い視野を持って就職活動に取り組んでいただけるよう、授業や説明会等を通じて、就職後の活躍をイメージできるようなご支援をさせていただければと考えています。
- 学内説明会など今後も学生の方と接する機会を多く頂きたいとお願い申し上げます。
- 弊社として貢献できることが無いか、検討させていただきます。
- 採用にあたっては、大学院卒は初任給も高いですし求める期待レベル（合否判断基準）は高くなります。大学院生が増えていった時に質が低下しないようにすることが学生ファーストにつながると思います。
- キャリア教育、就職関連支援をはじめ、様々な活動が充実されている印象をうけました。
- 全国トップクラスの学生へのフォロー体制だと感じています。

(2)「産業界が求める人材・スキルについて」

- 知識・スキル等のインプットとアウトプットの双方を意欲的にバランス良く行える人材を求めています。また、企業での仕事の殆どは一人で完結するものではなく、他者との協働が不可欠のものです。そのため、より良い成果は優れたコミュニケーションなしでは達成できません。聴く、話す、読む、書く、バーバル、ノンバーバルといったあらゆる側面でのコミュニケーション能力をもつことが最も大切だと考えています。
- コミュニケーション能力については、話すのが上手というより、自身の考えをしっかりと言葉にできることが重要だと考えています。さらに、大学での研究や様々な活動を通じて、ご自身が自信となるコア技術（能力）があれば、活躍いただけるベースはあると考えます。
- やはりコミュニケーション能力、前向きに取り組む姿勢がベースとして必須と感じています 大学での学びを疎かにしないで頑張る学生は大歓迎です。
- コミュニケーション能力と完遂力を期待したいです。また、貪欲に成長する方を多く輩出いただくことを期待しています。
- 当社では、コミュニケーション力は選考基準にしております。また、営業や製造等の職種に関わらず「モノづくり」に興味ある方を選考基準にしています。
- コミュニケーション能力。チャレンジする意欲と行動力。協調性があり、粘り強く最後まであきらめない人財。
- コミュニケーション能力、数理的思考力、論理構築力、協働力、達成志向。
- コミュニケーション能力、ITスキル、工学分野の技術専門性。
- コミュニケーション力とICT理解があったほうがベターと思います。
- コミュニケーション能力、英語力。
- 一般的なコミュニケーションはもとより、英語力や論理的思考力は養っていただけると幸いです。
- 学生の皆さんが、きちんと挨拶できることは素晴らしいことだと思います。社会に出ても、コミュニケーションが取れるための基本だと思いますので、継続して頂きたいと思います。
- 社会には、様々な考え方の人がいますが、いつの時代も、仕事において大事なことは、学ぶ姿勢であると思います。
- 当社では、自ら主体的に学ぶ力や、課題解決を振り返り次の課題に活かす力を求めます。
- 多様な人材と共創する取組。学びを実社会で実践するPBLを引き続き推進していただきたいです。企業で主体的に課題解決に動ける人材を求めます。
- 主体性、自律性、向上心、突破力（諦めずに課題解決に向けて行動出来る力）。
- これからは、自分で考え主体的に課題解決ができる人財が求められると考えます。ただ、言われた事をこなすだけでは、いくらベースの能力が高くとも企業価値向上にはつながらない。
- どんな事に対しても探究心があり、積極性、創造性に優れる人材。
- 論理的思考力（個人の個性に依存する部分が大いのですが）相手が何を求めているのかを考えて話ができる、報告ができる、そうした考える習慣から論理的な思考と話し方ができる人材を求めています。
- 仕事に対する情熱と決めたことをやり抜く実行力。
- 情熱をもって取り組むことが出来る人材。
- 就職すると付き合う人の年齢幅が大きくなります。企業側も世代間の価値観の違いを学んでいます。価値観を合わせる・変えることは難しいので、お互いに世代ごとに価値観の違いがあることを理解していることが大事だと思っています。
- 電気関係、危険物、食品関係の資格。

(3)「研究活動の高度化・実用化に関すること」

- ①作業員の身体的負荷を減らす、補助ロボットの開発など ②人口移動(引越)蓄積データを活用しての新たな事業展開考案など 今後の研究活動に加えていただけますと幸いです。
- 機会があれば、何かの形で研究などを実施出来たらよい。
- 計測機器、加工機器の充実ぶりには目を眩りました。 これらの機器を使用する経験は、実企業における研究開発等の業務にもすぐに活用できるものだと思います。
- ものづくりセンターでの取組みも創造性を育む素晴らしいものだと感じましたが、要望として、実作業を行うこの施設においては企業レベルの安全教育を実施いただければと思います。
- 実学に重きを置いて研究活動を行っていただきたい。
- 自治体・企業との連携で研究を進めている点は評価でき、学生さんにとってもよい経験になっていることが分かりました。
- 研究活動に対して、取り組み姿勢等、レベルの高さを感じました。

(4)「教育改善に関すること」

- PBL が当たり前になってきている中で、自分から取り組めるか否かで学生の中でも格差が出てくると感じます。 ぜひ学園全体で、高いレベルでの競争原理が働くとうよいと感じました。
- 積極的な PBL 教育は、就職後の即戦力として、価値ある教育だと思います。
- デジタルを活用しつつ積極的なアクティブラーニングに取り組み、より効果的な授業が展開されている点を理解しました。 弊社の社員向けの研修としても参考にさせていただきます。
- アクティブラーニングは、企画や改善等の様々な業務を進めるうえで、物事の考え方や向き合う姿勢等の醸成につながるものだと感じました。 また、DX は欠かすことができないため、大学時代より知識・スキルを身につけられていることは十分な強みです。
- 本質論をしっかりと学ばせていただきたい。 よく、事象を原因と捉え事象を改善することに躍起になり本質を見ていないのでその場限りの対応になったりする。
- 4年間の大学生活で、学生が世の中で役に立つことができる人財に育てる、という方針が素晴らしいと思います。 教授側の評価制度も、学生を預かる身として、やはり重要であり、私自身の勉強になりました。